

# Windows 用

## ドライバーインストール手順

### メモ

以下の画面は、Windows 10 の画面です。

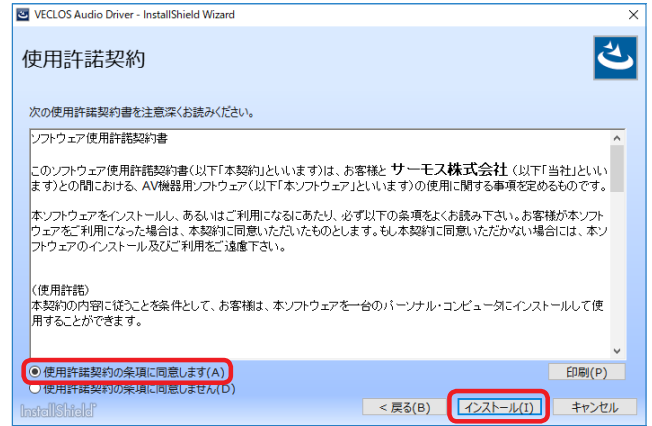
- 1 VECLOSAudio.exe ファイルをダブルクリックしてインストールウィザードを開始する。

ソフトウェア（プログラム）の使用許可を確認するポップアップが表示された場合は、「許可」あるいは「はい」をクリックしてファイルを実行してください。

- 2 「次へ」 ボタンをクリックする。



- 3 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択した後、「インストール」 ボタンをクリックする。



- 4 ウィザードの完了画面が表示されたら「完了」をクリックしてインストールを終了する。



## パソコンと接続する

パソコンの USB 端子に初めて本機を接続した場合、自動的にドライバーが設定されます。

- 接続手順は、取扱説明書をご覧ください。

パソコンの USB 端子に初めて本機を接続するとタスクトレイにメッセージが表示されます。


### 表示例



⚙️ **デバイスのセットアップ**  
'VECLOS SSB-380S' をセットアップしています。

しばらくすると「ドライバーがインストールされました。」と表示されます。

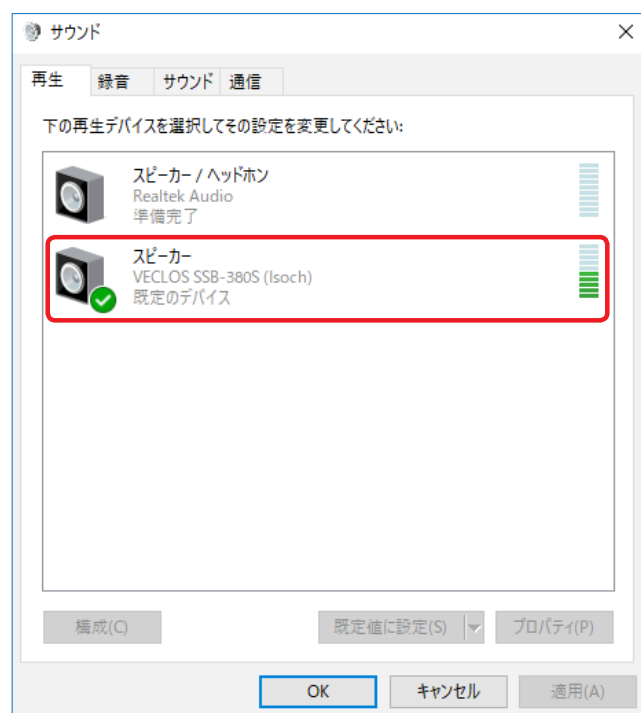
### 表示例



⚙️ **デバイスの準備ができました**  
'VECLOS SSB-380S' は、セットアップが終わり、準備が整いました。

接続した製品が正常に認識された場合は Windows のコントロールパネル内のサウンドの項目を開くと、再生デバイスとして VECLOS SSB 380S が登録されています。

### Windows 10 の場合



## 音声出力デバイスの設定

Windows コントロールパネル内のサウンドの項目を開き、サウンド再生の既定のデバイスとして「VECLOS SSB-380S」が選択可能です。

ここで選択されたデバイスからは、Windows の操作音や Windows メディア プレーヤーの再生音出力されます。

サウンド再生の既定のデバイスとして設定する場合は以下の設定を変更してください。

1. 前項目の再生デバイス画面にて「VECLOS SSB-380S」をクリックして選択した状態にして「プロパティ」ボタンをクリックする。
2. 表示されたプロパティ画面上部の「サポートされている形式」タブをクリックする。
3. 「適用」ボタンをクリックして、設定を確定する。

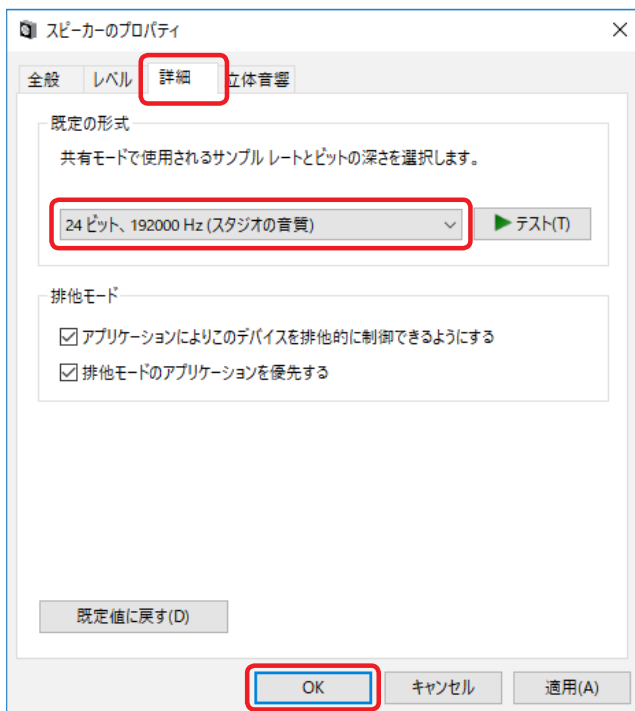
#### 4. 「詳細」 タブをクリックする。

「既定の形式」の項目に 384000Hz が表示されている場合は、設定を変更します。

この項目が表示されている部分の右端をクリックしてプルダウンメニューを表示し、192000Hz 以下のサンプリング周波数を選択してください。

192000Hz より大きなサンプリング周波数を設定した場合、正常に動作しないソフトウェアがあります。

- この選択項目は一度変更すると以降は 384000Hz は表示されません。



#### 5. 「OK」 ボタンを押して設定画面を終了する。

### 音楽再生ソフトウェアの設定

パソコンと USB で接続した本機から音声を出力するには、使用したい音楽再生ソフトウェアの設定項目にてサウンド再生デバイスとして「VECLOS SSB-380S」を選択してください。

デバイスの選択方法は、ご使用のソフトウェアの説明書をご覧ください。

一般的にソフトウェアにデバイスの設定項目がない場合は前述の Windows サウンド再生設定にて「既定のデバイス」として選択した機器から音が出力されます。

- 接続した製品から音楽ファイルの再生音のみ出力したい場合は、既定のデバイスとして「VECLOS SSB-380S」選択をしない状態で、ご使用の音楽再生ソフトウェアの設定にて「VECLOS SSB-380S」を選択してください。

## 転送モードを変更する

転送モードとして Isochronous、または、Bulk Pet を選択することができます。

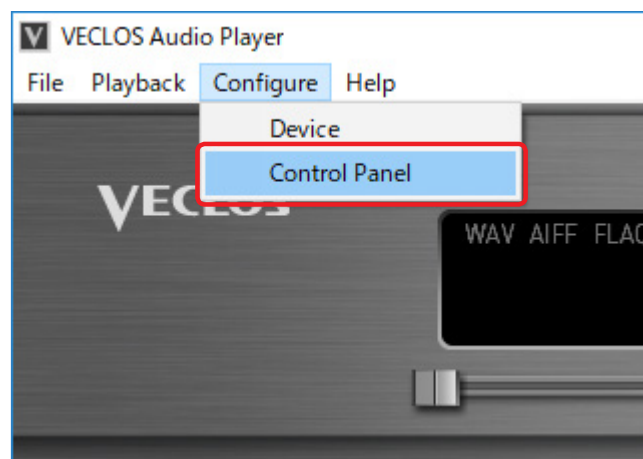
さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから選択することができます。

### メモ

- パソコンの USB 端子に初めて本機を接続した場合、転送モードは Isochronous になっています。
- 転送モードを変更するには VECLOS Audio Player を使用します。あらかじめインストールしておいてください。

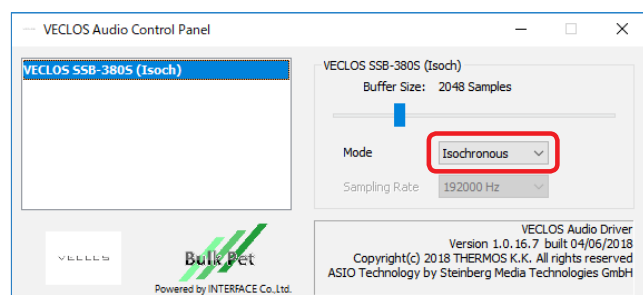
### 1. VECLOS Audio Player を起動する。

### 2. [Configure]-[Control Panel] を選択して VECLOS Audio Control Panel を表示させる。



### 3. 希望する転送モード (Mode) を選択します。

データ転送に使用するバッファのサイズ (Buffer Size) も変更することができます。



### メモ

初めて Bulk Pet を選択すると、Bulk Pet 用のドライバーのインストールが始まります。ドライバーのインストールが終わるとタスクトレイに以下のようなメッセージが表示されます。

### 表示例

⚙️ **デバイスの準備ができました**  
 'VECLOS SSB-380S' は、セットアップが終わり、準備が整いました。

ドライバーのインストールが終わったら、前ページの「音声出力デバイスの設定」に従って設定を行ってください。

# Mac 用

## 対応 OS

- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- 2018 年 1 月現在

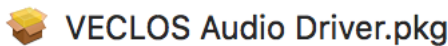
## ドライバーインストール手順

Bulk Pet 転送方式を使用するときは、本ドライバーをインストールする必要があります。

- インストール時に OS の再起動が必要になります。あらかじめ他のアプリケーションを終了してからドライバーのインストールをしてください。

### 1. ダウンロードしたファイルを解凍する。

### 2. VECLOS Audio Driver.pkg をダブルクリックしてインストールを開始する。



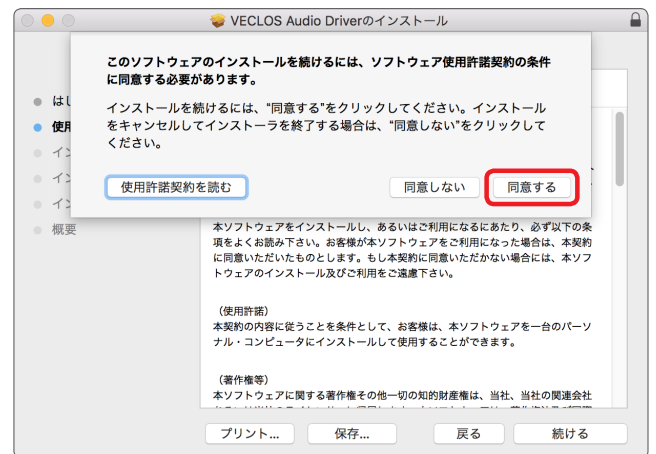
### 3. 「続ける」 ボタンをクリックする。



### 4. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、「続ける」 ボタンをクリックする。



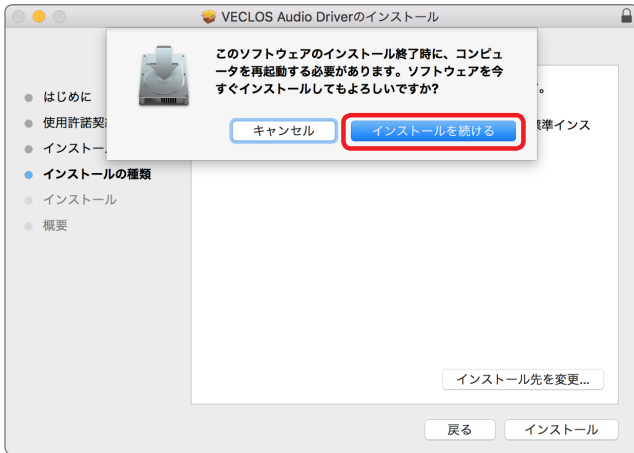
### 5. 「同意する」 ボタンをクリックする。



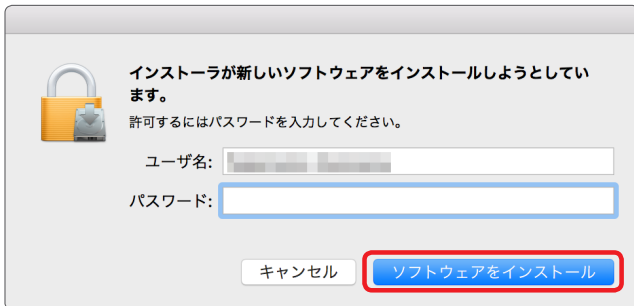
### 6. インストール先のハードディスクの空き容量が不足していないかを確認して、「インストール」 ボタンを押す。



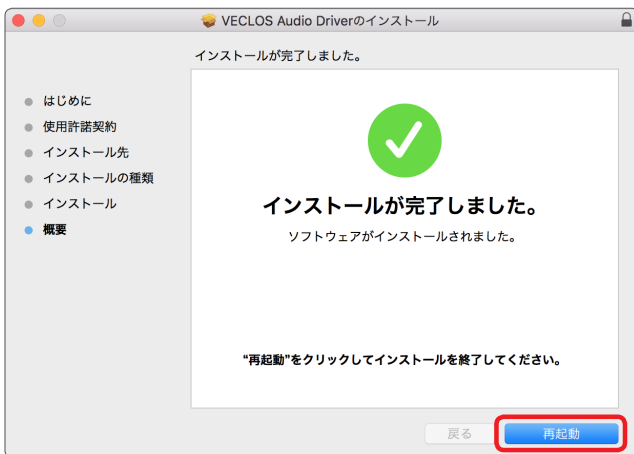
7. 他のアプリケーションを終了してから「インストールを続ける」をクリックする。



インストールをするには、管理者アカウントとパスワードを入力する必要があります。



8. 「インストールが完了しました。」と表示されたら「再起動」ボタンを押してインストールを終了する。



転送モードを変更する

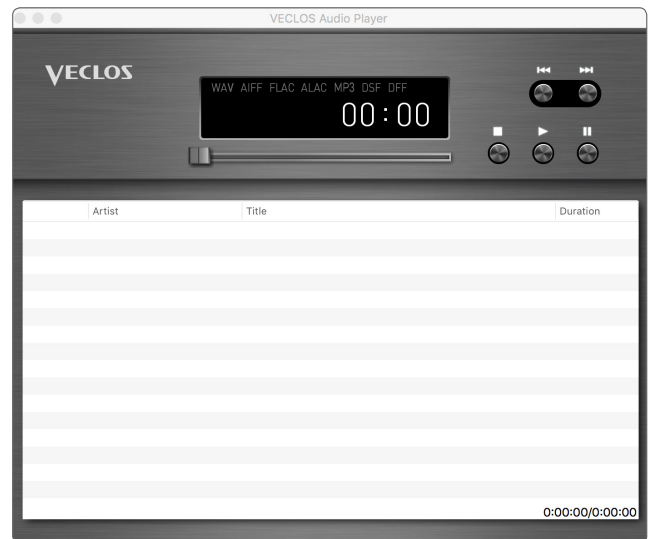
転送モードとして Isochronous、または、Bulk Pet を選択することができます。

さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから選択することができます。

メモ

- パソコンの USB 端子に初めて本機を接続した場合、転送モードは Isochronous になっています。
- 転送モードを変更するには VECLOS Audio Player を使用します。あらかじめインストールしておいてください。

1. VECLOS Audio Player を起動する。



2. メニューバーの [VECLOS Audio Player] から、[Control Panel] を選択して VECLOS Audio Driver Control Panelを表示させる。



3. 希望する転送モード (Mode) を選択します。

- Mac では、データ転送に使用するバッファのサイズ (Buffer Size) を変更することはできません。

